

正森かつやさんに聞きました

福祉最優先の吹田へ

もう待ったなし

福祉の視点で くらし・地域経済を守りたい

丹羽野 本日は社会福祉法人こばと会の理事として、とりわけ高齢者福祉の最前線で活躍されている正森かつやさんをゲストにお迎えしました。現場で日々、感じられていることもあるのではないのでしょうか。

正森 社会福祉の現場で約20年働いてきました。大学で社会福祉を学び、尼崎の特別養護老人ホーム「喜楽苑」を皮切りに、9年前から山田にある「いのこの里」で勤務してきました。福祉の現場にいて、特に感じてきたのは、この間「行政が公的な責任を果たしてこなかった」ということ。

介護保険ができて11年。特養の待機者は解消されるどころか、増え続け、吹田でも700人いらっしゃると思います。私は「いのこの里」の仕事を通じて皆さんの切実な声を聞いてきました。「自己責任」という名の下に、補助金をカットし、弱い立場の高齢者をさらに追い込む「冷たい政治

ですね。「予算がない」と、国や大阪府が高齢者や子どもたち、障害者などの福祉をバツサリと切り捨てようとしている今こそ、吹田市が市民生活を守る防波堤にならねばならない、そんな危機感から、「吹田市を変えたい」と、思いがいつぱいです。

丹羽野 「福祉最優先の自治体をめざそう」とおっしゃっていますね。具体的には、どんな吹田市が求められていると考えていますか？

正森 一番の願いは、「ホンマもんの福祉」を実現させたいということ。今の市長はよく、「自助、互助、公助」と言われます。でもそれは、自治体が必要な福祉施策を行うことが前提です。憲法25条には「誰もが最低限の生活を営む」権利があるといわれているのに、この間の格差拡大、



正森 かつやさん

貧困な子育て政策、お年寄りいじめの後期高齢者医療制度など、「福祉切り捨て」政治の中で、国民生活が痛めつけられてきました。そんな中で、最も身近な自治体である吹田市まで、「自助、互助、公助」と言いつつ、福祉予算をカットしたら市民は路頭に迷いますよ。自治体には「住民福祉の増進をはかる」という役割があります。ゼロクリアといって、吹田市が長年積み上げてきた福祉施策を見直そうとしている現市長は、結果として「自助と言う名の予算カット」を押し付けようというものです。

出席者
正森かつやさん
社会福祉法人こばと会理事
丹羽野和夫さん
吹田市職員労働組合執行委員長



「ホンマもんの福祉」を実現させたいですね

身の丈にあったまちづくりを

丹羽野 そうですね。住民にとって一番身近な吹田市が、踏ん張って福祉施策を後退させないようにしなければいけませんね。しかし一方で「財源はどうするんだ！」という声もありますよ。

正森 そんなんですよ、現市政は一言で言えば「開発優先」で、「福祉・くらし切り捨て」路線です。例えば「東部拠点開発」。今の市長は1100億円規模のよびこみ型開発を行おうとして失敗。手づまり状態のまま4年が過ぎました。大企業呼び込み型の失敗例は大阪府民は痛いほど知っていますよ。りんくうタウン、WTC、箕面森町...。ことごとく失敗して大赤字。その結果として「予算がない」と補助金カット。

私は東部拠点開発を見直して、お金の使い方も見直したい。もっと市民に身近な保育所の充実や、老人ホームの整備、地域包括センターの設置など、「ホンマもんの福祉」にチェンジさせたい。いわば「身の丈にあった」吹田市らしい、福祉のまちづくりです。

丹羽野 正森さんはこの間いろいろな地域の方々と対話されていますが。

正森 驚いたのは商工関係の分野です。かつては官公需の工事が70%ほどあった吹田市の業者さんたち。今では30%以下に激減して、不況に直面されている中で「このままでは地域経済はどうなるのか」という危機感を持ちました。たとえば、保育所や高齢者施設の建設、学校の改修工事などは地元業者に発注し、物品の発注も地元業者優先に、そんな施策が必要です。

まちづくりでは、毎日放送跡地の開発。千里丘の緑を切り開き、巨大な宅地とマンションに変貌しつつあります。あるいはニュータウンや千里山の公園、公社の建て替えによって、まちの外観が大きく変化しています。

吹田市はこれまで「民・民の問題」と傍観してきたようですが、地域住民の中に相当な不満としこりを残してしまっています。

毎日放送跡地開発では、小学校を1つ作らないといけないくらいの大規模開発ですから、業者任せにするのではなく、吹田市が主体性を発揮して、まちづくりのビジョン



を示すべきだったと思いますね。

丹羽野 皮肉なことに「東部拠点」も「ニュータウンの再生」も、今の市長の目玉政策です。市長は大規模開発でバラ色の町を描きたいようですが、例えば、ニュータウンの賃貸住宅の建て替えでは、約60%の住民しか元の住区に戻ってこない。建て替わった住宅が、家賃は高くなり、コミュニティもバラバラになるのですから。もっと住民目線で吹田市がコーディネートするべきだったと思います。

地域を回られて、市民からの要望などが出てきましたか？

保育所、年金、障がい者のいのちをつなぐ行政こそ

正森 子育て中のお母さんから、